

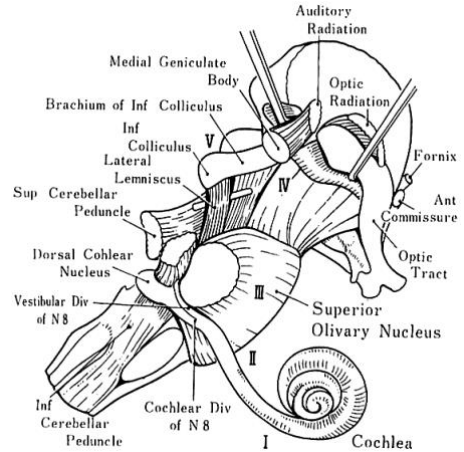
ステロイド（プレドニン）の効果と副作用

【どんな時に投与するか】

顔面神経麻痺、突発性難聴、内耳障害など末梢神経が障害されている病気の時には、なるべく早期にステロイドを投与する必要があります。

治療効果を期待するには、発症から 1 週間以内に治療を開始すべきと言われています。

1 日遅くなる毎に、治る可能性は低くなります。遅いと神経は治らず、副作用ばかりが目立ってしまいます。



【ステロイドの効能：壊れた神経を正常に近づける】

ステロイドは神経のみならず、体中に作用します。血圧、血糖、胃酸らをすべて体のしくみを高めるように作用するため、副作用となってあらわれます。

【ステロイドの副作用】

- ① 高血圧の人はより血圧が上昇する
- ② 糖尿病の人は血糖値が上昇する。
- ③ 胃酸を多くして胃潰瘍をつくる。
- ④ 精神を高ぶらせて食欲亢進、不眠になる。



点滴でステロイドを投与する場合は、副作用が出やすいので入院する必要があります。

【投与量と投与方法】

内服薬のプレドニンに換算すると、一日に体重あたり 1 mg (最大 60mg) が望ましいです。体重 60Kg の人では一日 60mg (12 錠) になります。ステロイドは体の中では朝方多く作られるため、朝に多く夕に少なく投与します。体重、年齢、合併症によって加減します。

数日おきに投与量を減らしてゆきます。自己判断で急に中断すると副作用が強くて危険です。必ず医師の指示どおりに、ゆっくり減らしてゆき、体を慣らしてから内服を終了してください。

【その他の治療薬】

神経の回復を手助けするためにビタミン B12、ATP から神経の栄養剤を数種類内服します。胃潰瘍を予防するために胃薬を内服します。